

# 平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	020100	TEL	2998-9030
事業コード	予算執行管理事務	財務部 財政課				
020103			グループ	予算担当グループ		

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	4節 財政運営	中柱	1 計画的な財政運営	小柱	(3) 行政経費の継続的な見直し
---------	----	---------------	----	---------	----	------------	----	------------------

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

目的(何のために行うのか、具体的に)

財政事務の公正で能率的な運営と適正な執行を行うために、研修会等を通して執行事務手続き等の周知徹底を図る。

②事業の内容	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 18 年度	130	人
	予算執行事務説明会参加者			平成 19 年度	170	人

業務の具体的な内容及び実施方法

- ① 予算執行事務について、財政課、契約課、出納室による合同の研修を予算担当者に対し実施する。
- ② 資料「予算執行等について(通知)」「伝票事務の手引」「委託契約事務の手引」を基に予算執行の際の注意点についての研修を実施する。

H	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 少ない	<input type="checkbox"/> ほとんどない
19	20年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり		<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了		

評価  
平成19年度中に改善した点  
「予算執行等に関する説明会」の見直しを図った。これまでは、財政課単独で研修会を行っていたが、年度末を控え契約事務手続きを始める所属があることや、新財務会計執行系稼働を控えていることから、原課の負担を軽減するため、契約課、出納室との合同説明会を開催し、研修の内容を参加者が予算執行事務に役立てられるように改善した。なお、19年度のみ職員課による控除に関する説明も行った。

経費	<会計種別>	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		8,171	13,243	23,600
	決 算 (見込み含む)		8,410	11,556	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )
	正規職員人件費	0.95 人	8,740	0.85 人	7,985
	事業費合計		17,150	19,541	
	市民一人当たり(単位:円)		50.8	57.6	

指 標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
活動実績	研修回数		回	2	1	1	1
	研修参加者		人	130	170		
成果分析	参加者の満足度	アンケートによる理解度/参加者数	目標値	100	100	100	100
			実績	96	94		
			% 達成率	96.0	94.0		

評価項目	見直しの必要性	評価理由及び対応策
コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	人件費が主なものであるため。
実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	高い成果が上がっていると考えられるため。

業務を進めていくうえでの課題

初めて予算執行業務に携わる職員にも理解できるよう、また、当市の財政状況を踏まえて予算執行が行われるように工夫を重ねていく必要がある。

次 評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	参加者の満足度が高まるよう内容を工夫する	説明会開催前

21年度予算の方向性  現状どおり  増額  減額  終了

昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方

平成19年度説明会は、新財務会計システムの導入に関する内容が多く、参加者の理解度を高めることが難しかったと思われる。しかし、原課が多額の伝票を起票することになる4月前に4課合同の説明会を開催できたことは、大変有意義だったと考える。今後も研修会等の内容を充実するなどの工夫を重ね、職員の知識や理解を深める中、引き続き予算執行事務の適正化を図っていく。

評価日 記入者職氏名 財政担当 参事 粕谷 不二夫

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
施策の体系	施策の方向			